

■安全性について

防滑性

浴室では、滑り、つまずきによる転倒事故が多く高齢者にとっては致命的な事故になりかねません。バスナフローレ、バスナルティは素足での防滑性に加えて、介護者が介護時に使用する履物（サンダル・長靴）にも滑りにくく設計されたシートです。また、視認性においても滑りにくい印象を持たせることで、高齢者が一歩目を踏み出す際の不安をなくします。

■各種床材の防滑性能CSR値・CSR-B値と素足官能試験

床材	CSR値			CSR-B値		素足官能試験	
	滑りやすい		滑りにくい	滑りやすい	滑りにくい	滑りやすい	滑りにくい
	0.00 0.3%石鹼水	0.00 水	0.00 乾燥	0.00 0.3%石鹼水	0.00 水	0.3%石鹼水	
バスナフローレ	0.41	0.63	0.71	0.59	0.80	●●●●● ランク 5	
バスナルティ	0.43	0.66	0.71	0.67	0.80	●●●●● ランク 5	
浴室用 ゴムフロア	0.56	0.68	0.71	0.27	0.72	●● ランク 2	
一般 ユニットバス床(FRP)	0.41	0.63	0.69	0.53	0.81	●●● ランク 3	
一般 セラミックタイル	0.54	0.67	0.68	0.96	0.97	●●●●● ランク 4	
NSシート NS550 ガーデント	0.43	0.65	0.69	0.56	0.99	●●●●● ランク 5	
一般ビニル床シート フロアリュウム プレーン	0.13	0.37	0.79	0.26	0.69	● ランク 1	

※一般セラミックタイルは防滑処理加工のものを使用しています。

CSR値 試験方法

評価基準 実際の浴室での試験施工結果に基づく、0.3%石鹼水にてCSR値0.4以上であれば安心できるレベルであるといえます。

滑り性試験(JIS A 1454)

傾斜度30°の引張り側端部を持つ平滑なゴム片を取付け、鉛直荷重785N・仰角18°引張荷重速度785N/秒でシート上を引っ張ります。そのときに得られる最大引張荷重を鉛直荷重785Nで割った値をCSR値と呼びます。CSR値が大きいほど滑りにくいことを示しています。



$$\text{CSR値} = \frac{\text{最大引張荷重(N)}}{\text{鉛直荷重(785N)}}$$

素足官能試験方法

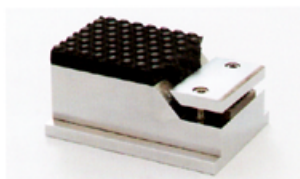
評価基準 実際の浴室での試験施工結果に基づく、評価ランク3以上であれば安心できるレベルであるといえます。

勾配10/100の斜面上に床材を施工し、濃度0.3%の石鹼水をかけた後、人間の素足で実際にシート上をすり足歩行し、滑りやすさを評価します。防滑性シート「NSシート NS550ガーデント」を5、一般ビニル床シート「フロアリュウム プレーン」を1と設定し、相对比较で各床材を5段階評価します。

CSR-B値 試験方法

評価基準 実際の浴室での試験施工結果に基づく、0.3%石鹼水にてCSR-B値0.4以上であれば安心できるレベルであるといえます。

素足での滑りを想定した試験です。CSR値測定と同じ試験機を使用し、凹凸のあるゴム片(写真参照)を取り付け、CSR値測定と同じ鉛直荷重・仰角・引張荷重速度でシート上を引っ張ります。そのときに得られる引張荷重・時間曲線(図例参照)のPmax・Pminの合計を鉛直荷重785Nで割った値をCSR-B値と呼びます。CSR-B値が大きいほど滑りにくいことを示しています。



$$\text{CSR-B値} = \frac{\text{Pmax(N)} + \text{Pmin(N)}}{\text{鉛直荷重(785N)}}$$

■引張荷重・時間曲線 図

